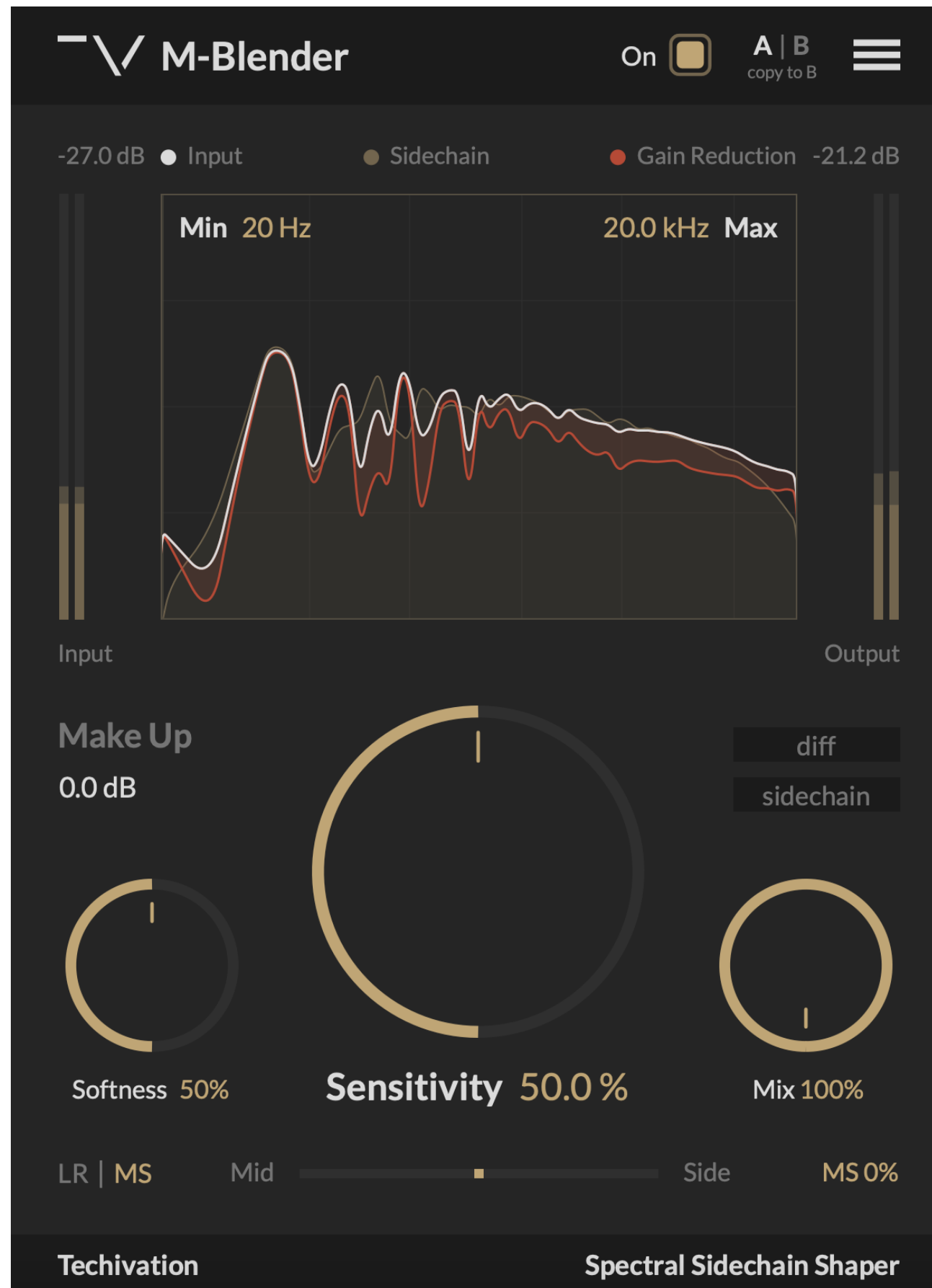


# Techivation M-Blender

## ユーザーマニュアル



# Techivation M-Blender

## 概要

M-Blenderは、楽器間でぶつかり合う周波数をクリーンアップすることで、ミックスに空間を作り出します。M-Blenderは真のスペクトル・プロセッシングを使用して、サイドチェーン信号のスペースをダイナミックに作り出し、周波数マスキングを防ぎます。これで、非常にクリアなミックスを実現するために必要な作業は最小限で済みます。

プラグインによるスペクトル調整は、単独では極端に聞こえることがあるので、常にサイドチェーンにルーティングされた信号と一緒に試聴することをお勧めします。一旦信号が結合されると、互いのスペクトルがしっかりとフィットし、マスキングのないクリアな結果が得られます。

もっと詳しく: <https://techivation.com/M-Blender/>

**注意:** このプラグインを機能させるには、外部サイドチェーン入力が必要です。外部サイドチェーン機能を持たないDAW（GarageBandなど）には対応していません。

# Techivation M-Blender

## 特徴

- Sensitivity
- Softness control
- Make Up Gain
- Frequency range
- Dry/wet Mix
- Diff & Sidechain
- Analyser
- Mid-Side and Left & Right
- Input-Output Level Meters
- Internal On-Off Switch
- A/B Switch
- Undo-Redo Options
- Presets
- Scaleable Graphic User Interface (GUI)
- Internal Menu
- Show/Hide Tooltips
- Stereo and Mono

# Techivation M-Blender

特徴

## Sensitivity

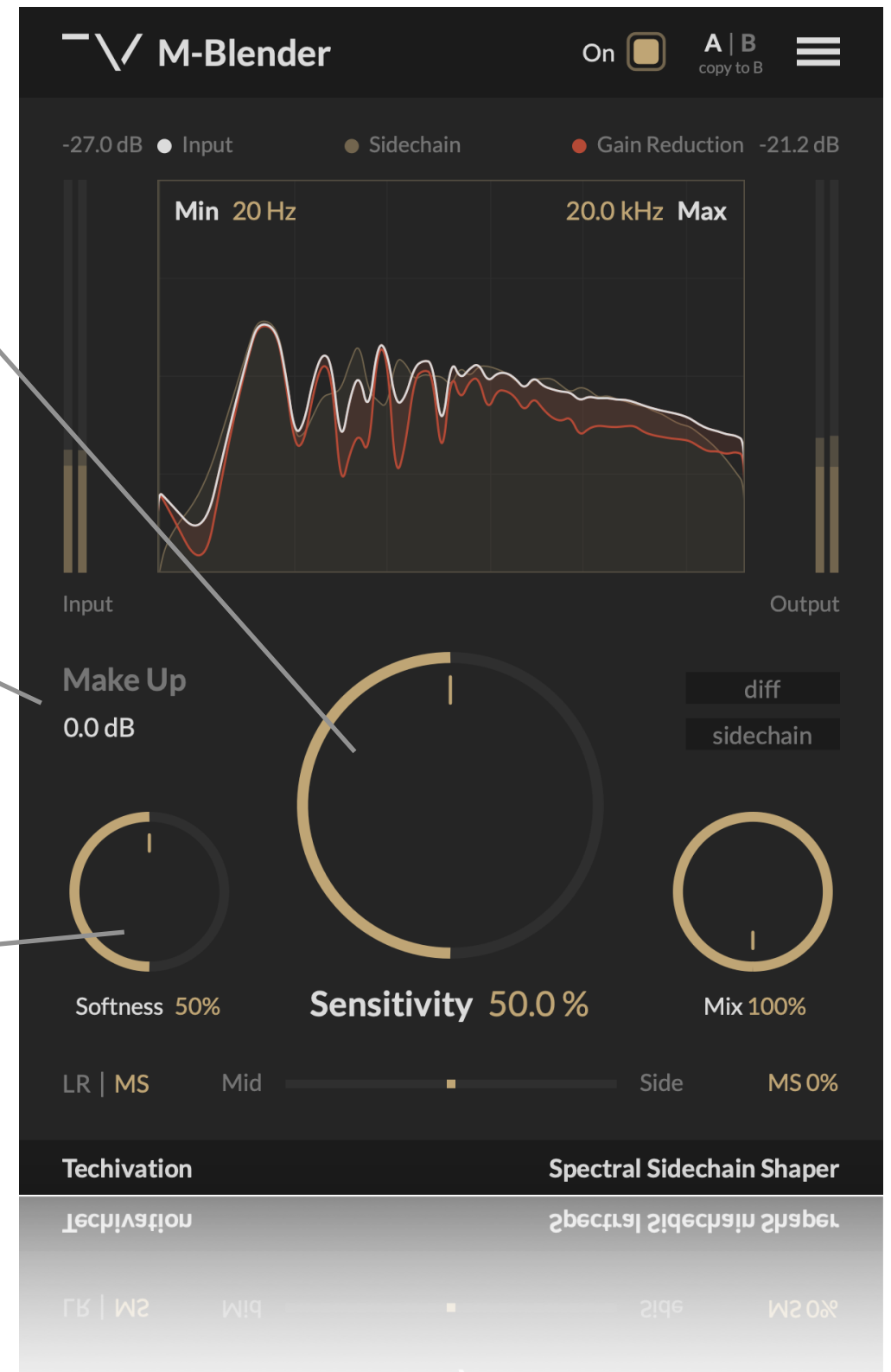
Sensitivity」は、スペクトル圧縮の内部スレッショルドをコントロールすることで、信号に適用されるスペクトル抑制の程度を決定します。Sensitivity'を上げると、サイドチェイン・シグナルのスペースが広がります。

## Make Up

Make Up Gain' パラメーターは、処理された信号のゲイン量を設定します。Dry/Wet ミキシングが行われる前に適用されます。

## Softness

ソフトネス (Softness) 」は、スペクトル圧縮の緩やかさを制御します。値を高くすると、スペクトルの平滑化がより多く適用され、スペクトルの圧縮ニーがよりソフトになる。



# Techivation M-Blender

特徴

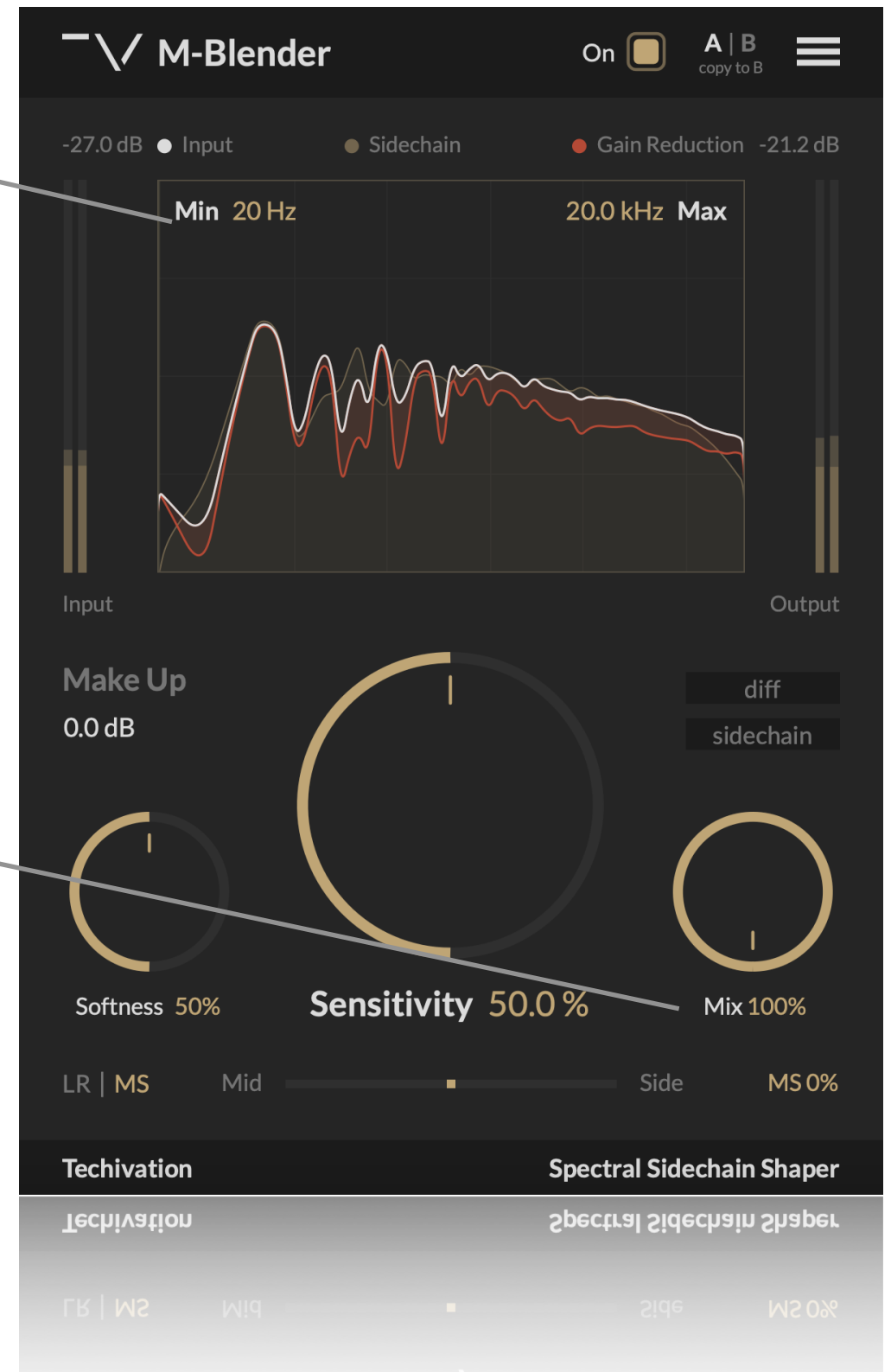
## Frequency Range

Frequency Range'コントロールは、プラグインの処理を指定された範囲に制限します。この機能はオプションで、周波数マスキングの問題からトラックをクリーンアップするために、より高い精度が必要な場合に便利です。

最小と最大の数字、または周波数スペクトルの左側と右側の線をドラッグして、範囲を調整できます。

## Dry/wet Mix

Mix」オプションは、入力信号と出力信号のブレンドを調整します。パラレル処理に最適です。0%（プラグイン・バイパス）から100%（デフォルト）まで設定できます。mix'をダブルクリックすると、デフォルト値にリセットされます。



# Techivation M-Blender

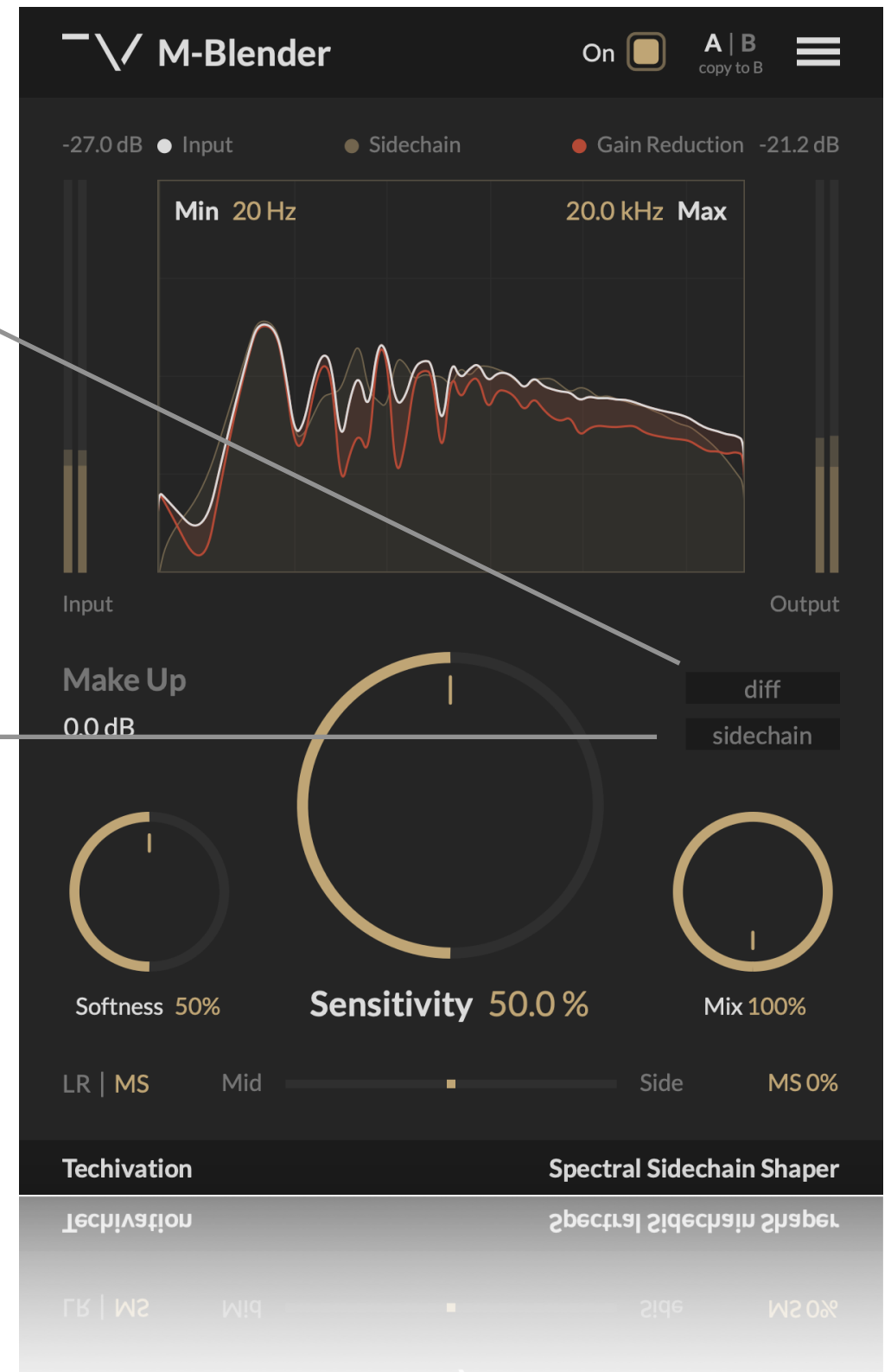
特徴

## Diff

M-Blenderの "Diff" 機能は、処理後の信号と元の信号の違いを聴き分けることができる便利なツールです。この機能により、オーディオに加えられた変更と拡張を聴き取ることができ、設定の微調整が容易になり、望ましい音質を達成することができます。

## Sidechain

Sidechain'コントロールは、コンプレッサーのサイドチェイン入力を聞くことができます。これにより、マスクされた周波数をターゲットにする際に、より正確さが必要な場合に、プラグインの「周波数範囲」を正確にダイヤルすることができます。

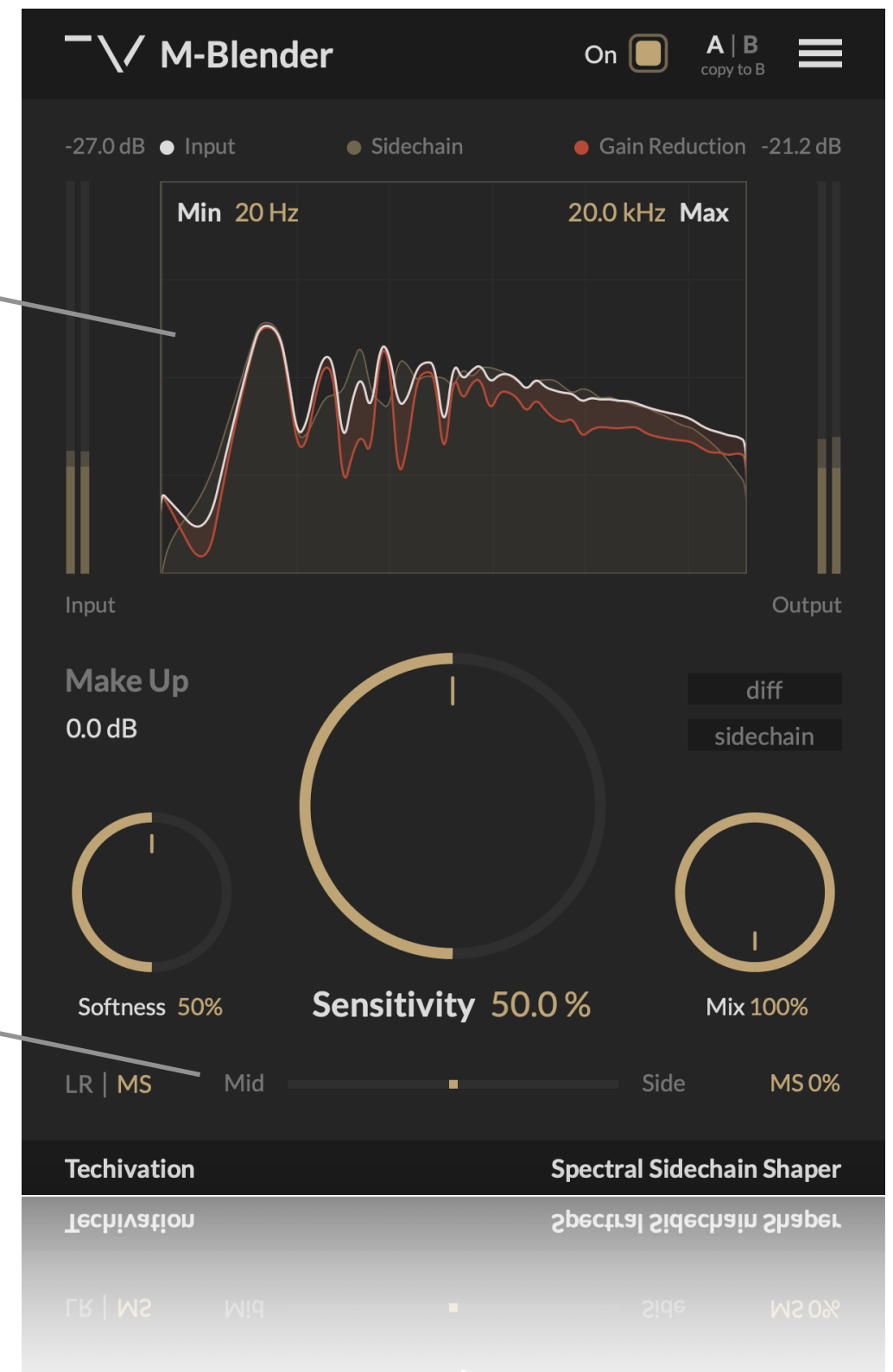


# Techivation M-Blender

特徴

## Analyser

M-Blenderのスペクトラム・アナライザーは、入力信号のスペクトラムと、プラグインによって実行されたスペクトラム調整を視覚化します。削減量はプラグインの設定とサイドチェーン入力信号に依存し、赤色で表示されます。



## Mid-Side and Left & Right

この機能により、処理をLR（左右）またはMS（ミッドサイド）モードに切り替え、ステレオトラックのLRまたはMSチャンネルに対するプラグインの効果量をコントロールできます。



# Techivation M-Blender

特徴

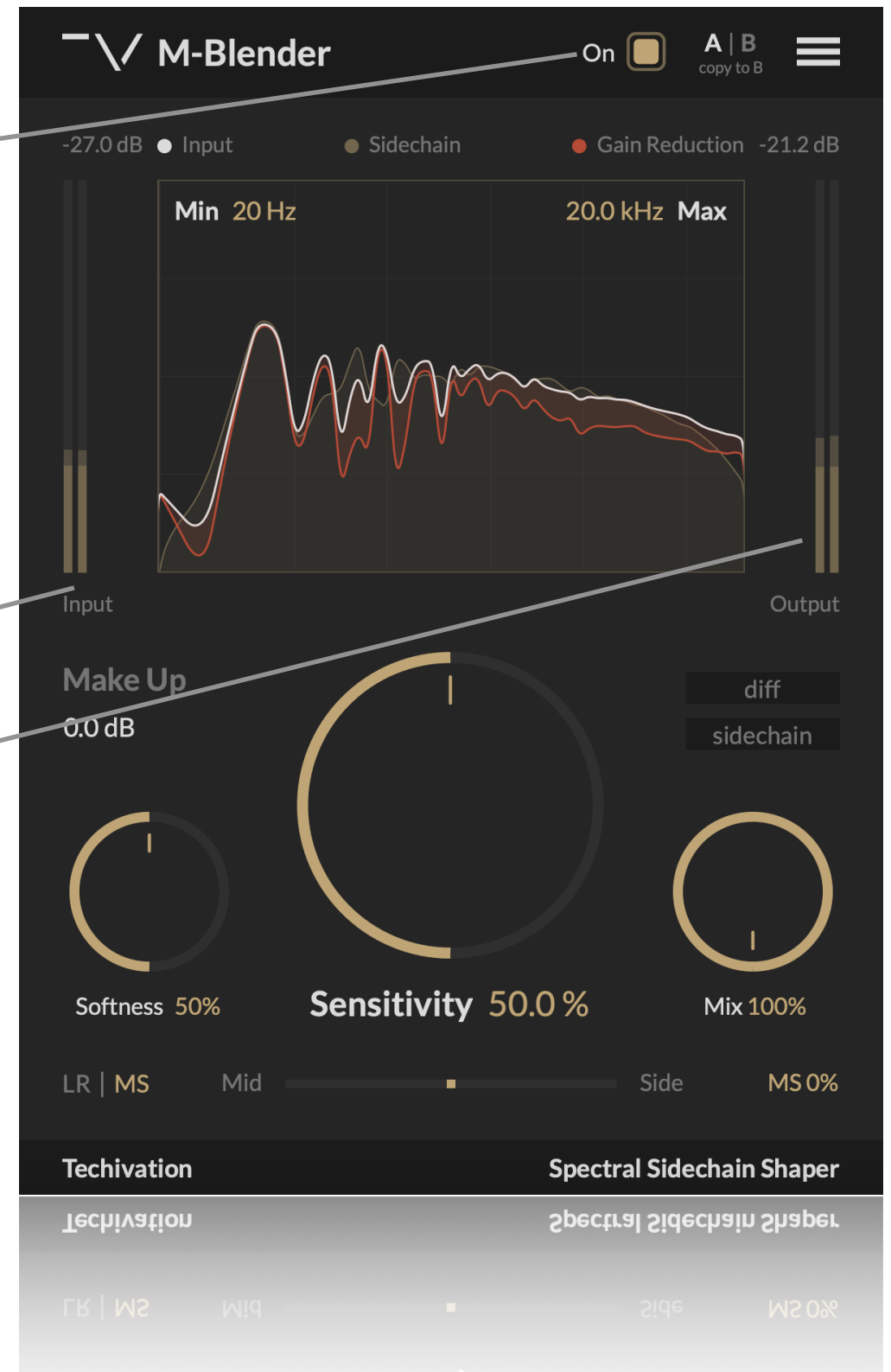
## Internal On-Off Switch

このプラグインは専用のバイパス/オンコントロールを備えており、エフェクトを素早く有効化またはバイパスすることができます。このユーザーフレンドリーなコントロールは、DAWホスト内で直接エフェクトのオン/オフを切り替える際に発生する可能性のあるクリックやオーディオ・アーチファクトを回避するために設計されています。

## Input-Output Level Meters

入出力レベルメーターは、処理前後の入力信号と出力信号のオーディオレベルを表示するビジュアルディスプレイです。

これらのメーターは、入力と出力のレベルをリアルタイムでフィードバックし、オーディオ圧縮処理中に発生する振幅の変化をモニターすることができます。



# Techivation M-Blender

特徴

## Presets

このプラグインは、既存のプリセットを読み込むだけでなく、右上にあるメニューを使って独自のカスタムプリセットを作成・保存することもできます。

この機能により、特定のミキシング・ニーズに合わせた様々な設定に素早くアクセスして適用することができ、ワークフローを合理化し、オーディオ処理タスクに一貫した出発点を提供します。

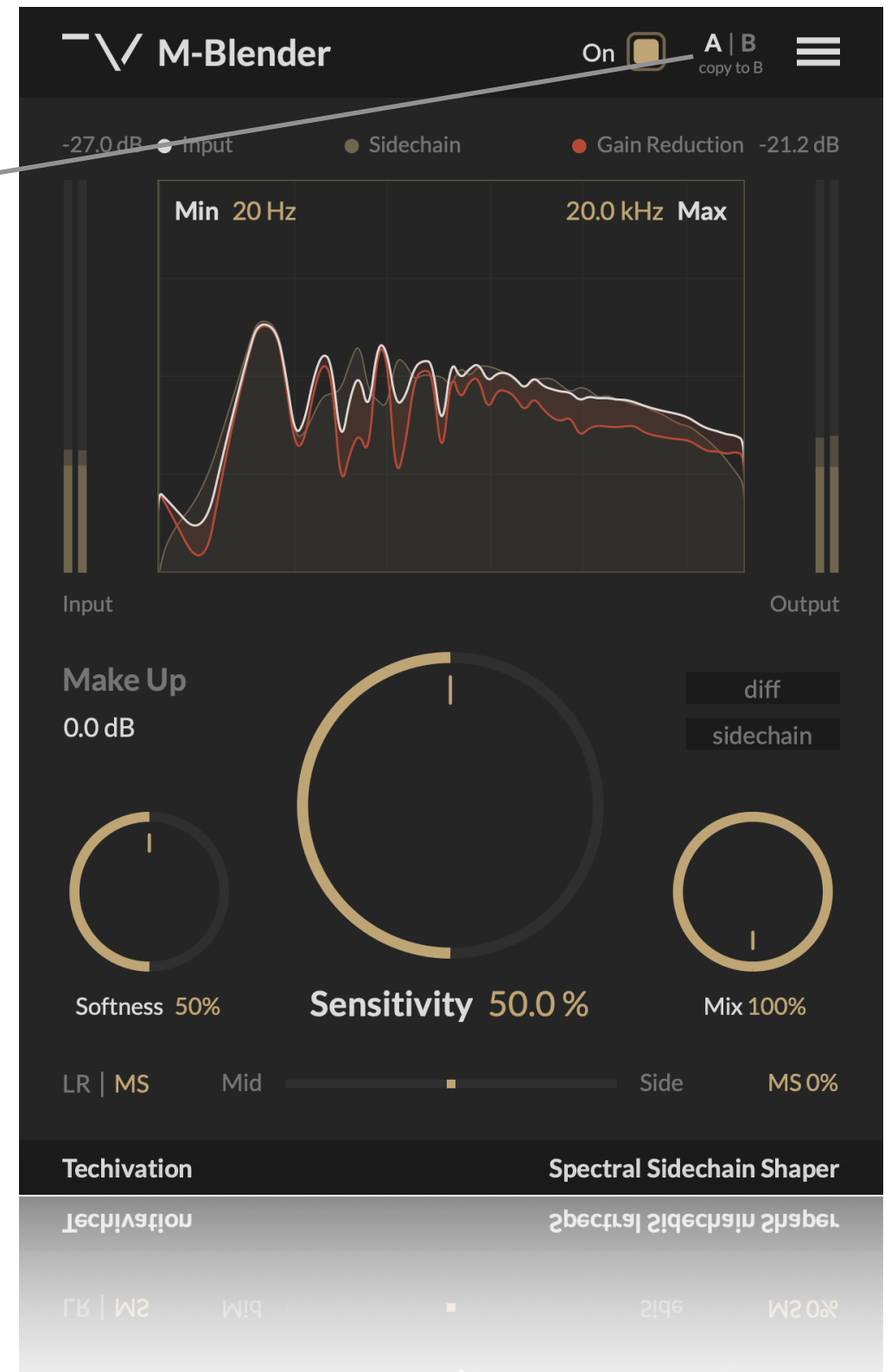
さらに、独自のカスタムプリセットを保存することで、異なるプロジェクト間で好みの設定を簡単に呼び出すことができ、オーディオ制作への一貫した効率的なアプローチを保証します。

# Techivation M-Blender

特徴

## A | B Comparison

オーディオ・プロセッシングのニーズに応じて、異なるオプションを比較し、最適な設定を見つけるのに便利なのがA/Bボタンです。クリックするだけで、同じ処理チェーンの2つの異なるバージョンを簡単に切り替え、結果を比較することができます。さらに、'Copy A to B'と'Copy B to A'機能により、設定を一方のバージョンから他方のバージョンにコピーして、その効果を比較することで、小さな微調整や調整を素早くテストすることができます。A/Bボタンと'コピー'機能を併用することで、処理の微妙な変化を効率的に評価し、最適なアプローチについて十分な情報に基づいた決定を下すことができます。この合理化されたワークフローは、時間と労力を節約し、技術的な詳細に煩わされることなく、ミックスのクリエイティブな側面に集中することができます。



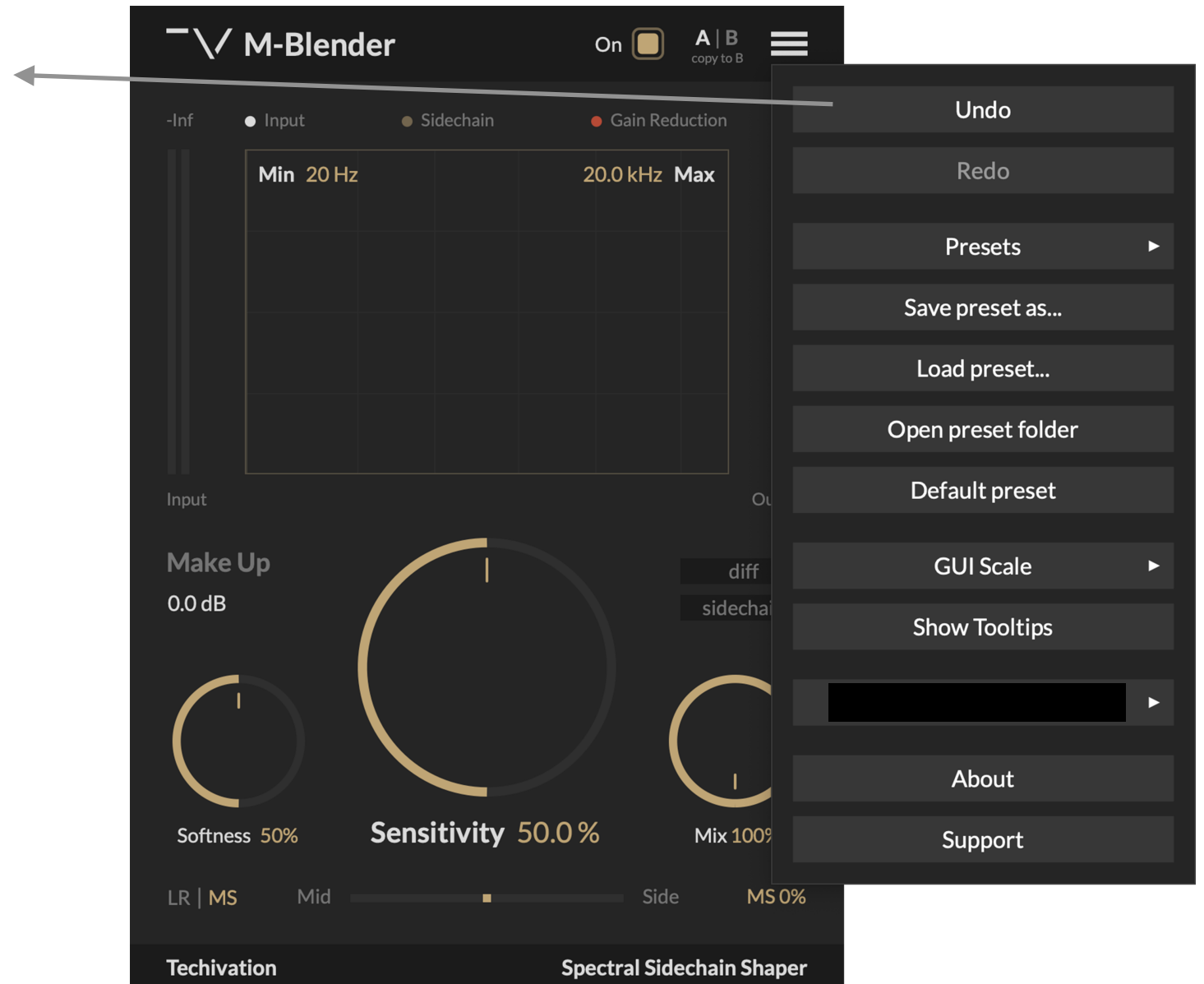
# Techivation M-Blender

特徴

## Undo/Redo

M-Blenderプラグインには、「元に戻す」と「やり直し」の便利なオプションが内蔵されており、オーディオ処理中にさらなる安心を提供します。これらの機能により、簡単に以前の設定に戻したり、誤って行った変更をやり直したりすることができ、時間を節約し、貴重な調整を失う可能性のあるストレスをなくすことができます。

元に戻す'と'やり直し'オプションにより、オーディオを永久に変更する心配なしに、さまざまな設定や構成を試すことができます。さらに、この機能は、バックトラックや別の処理経路を探索する効率的な方法を提供することで、ワークフローを強化し、オーディオ制作において、より多くの情報に基づいた意思決定を可能にします。

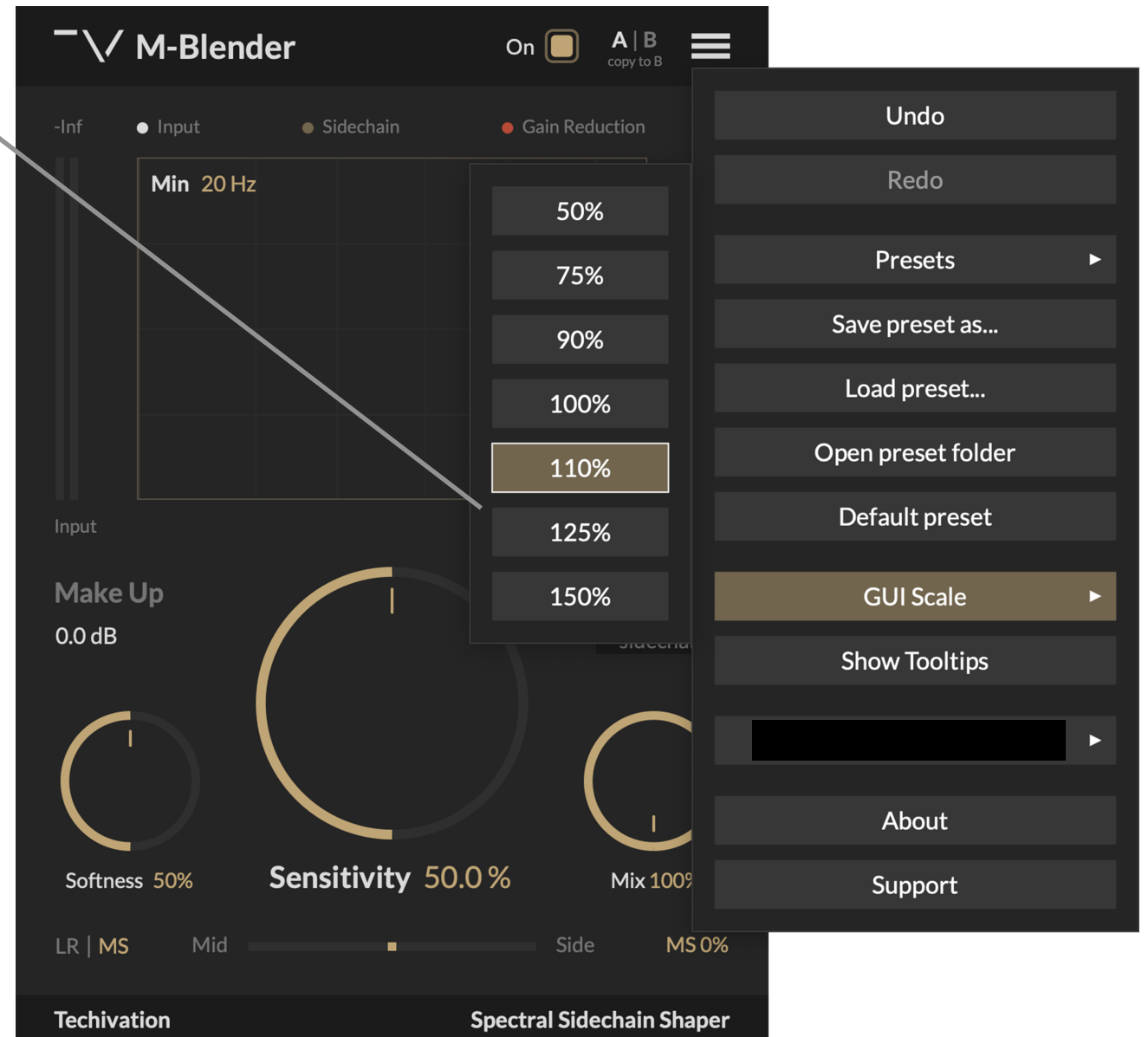


# Techivation M-Blender

特徴

## GUI Scale

M-Blenderのインターフェイス・スケーリング機能により、好みに合わせてGUIのサイズをカスタマイズし、ワークフローを最適化することができます。50%から150%まで、様々なスケーリングオプションが用意されているので、あなたのビジュアルや作業スタイルに合わせてインターフェイスをパーソナライズすることができます。この機能の優れた点の1つは、選択したスケールに関係なく、プラグインのビジュアル品質が一貫して保たれることです。このため、好みの表示サイズに合わせて拡大・縮小しても、インターフェイスはクリアで読みやすいままです。さらに、M-Blenderのインターフェイスのスケーリング機能は、Retinaディスプレイを含むハイエンド品質のモニター用に最適化されており、プラグインが様々なデバイス上で美しく、確実に動作することを保証します。



# Techivation M-Blender

特徴

## Tooltips

M-Blenderには便利な「ツールチップ」オプションがあり、プラグインのメニューから有効/無効を選択できます。このオプションを有効にすると、ユーザーインターフェースの各セクションの上にマウスを置くだけで、その簡単な説明を見ることができます。ツールチップは、プラグインの様々なコントロールや設定について素早く知るための優れた方法です。各パラメータの機能、範囲、オーディオ信号への影響など、役立つ情報を提供します。ツールチップオプションを有効にすると、ワークフローが速くなり、M-Blenderプラグインでの作業が簡単になります。特定のコントロールが何をするのか分からない場合、マウスをその上に置くだけで、素早く有益なツールチップが表示されます。



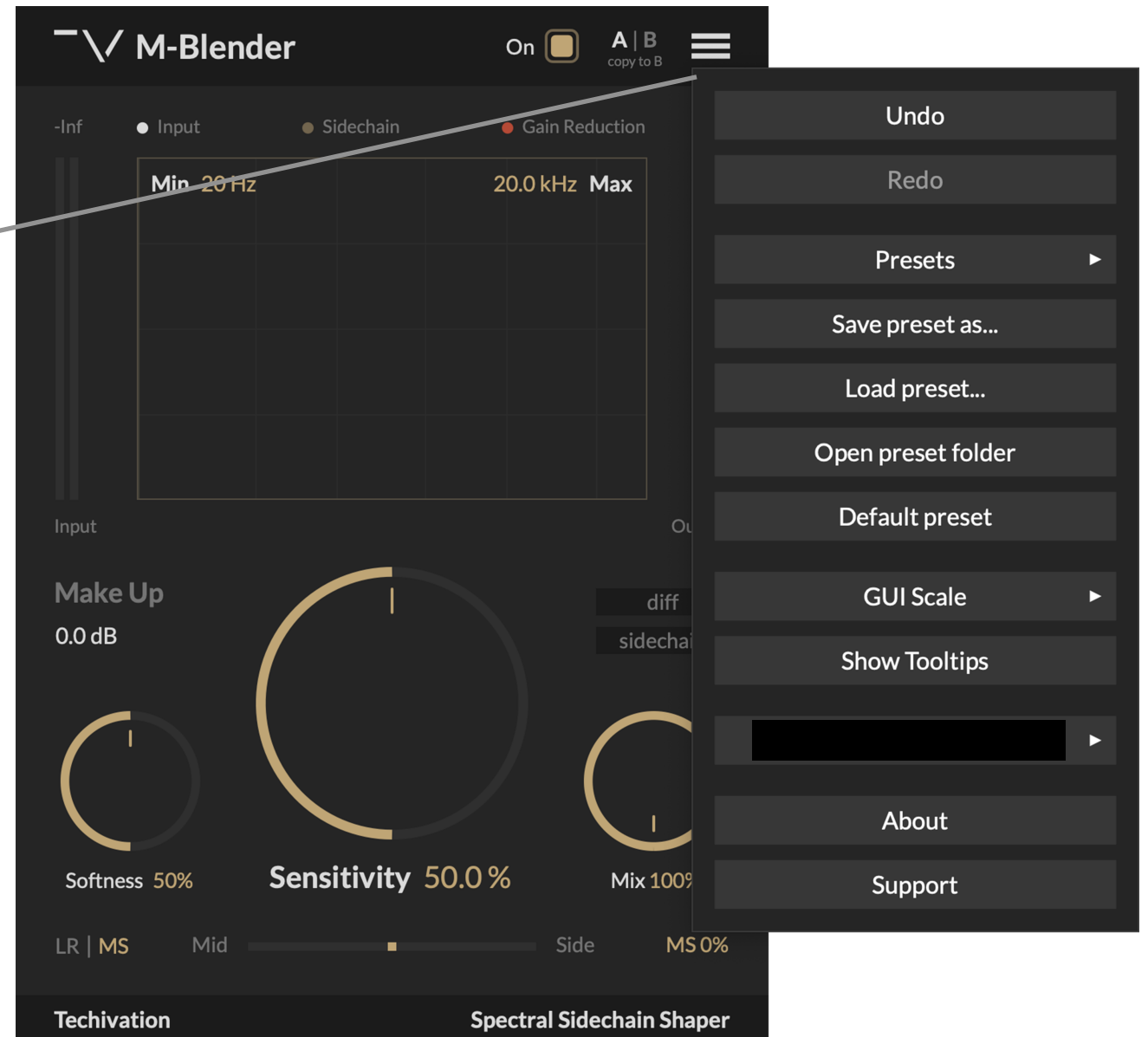
# Techivation M-Blender

特徴

## プラグインメニュー

便利な機能のクイックメニューです:

- Undo
- Redo
- Presets
- Save Preset As...
- Load Preset...
- Open preset folder
- Default Preset
- GUI Scale
- Show/Hide Tooltips
- [Email]/Sign in
- About
- Support





# Techivation M-Blender

## 互換性

**Plugin formats:** VST, VST3, AU, AAX.

**Platforms supported:** regular macOS installer supports 10.13 (High Sierra) and up, legacy macOS installer is from 10.9 (El Capitan) to 10.12 (Sierra)

Windows 7 and up. 32 & 64 bits

DAWs supported: Ableton Live, Logic Pro, Avid Protools, FL Studio, Cubase, Nuendo, Reaper, and other major DAW softwares on the market that support 'Sidechain' processing.

## アクティベーション

M-Blenderは、弊社のウェブサイトからライセンスを購入し、弊社の規約に従ってアクティベートする必要があります。弊社からライセンスを購入すると、プラグインにサインインした後、自動的にTechivationアカウントでプラグインを有効化します。1つのライセンスを購入された方は、同時に最大2台のマシンでプラグインを使用することができます。

## サポート

サポートに関するお問い合わせは、[techivation.com/support](https://techivation.com/support) をご覧ください。

権利の詳細については、[techivation.com/terms-conditions](https://techivation.com/terms-conditions) をチェックしてください。

ご不明な点がございましたら、Eメール ([info@techivation.com](mailto:info@techivation.com)) または [techivation@gmail.com](mailto:techivation@gmail.com) までお気軽にお問い合わせください。

## インストール

M-Blenderのライセンスを購入すると、プラグインにサインインしてアクティベーションを行い、生涯使用することができます。

ソフトウェアのダウンロードはサインアップ/購入時に提供されますが、Techivation.comでいつでも最新のソフトウェアアップデートを入手することができます。

ダウンロード後、ファイルを解凍し、お使いのシステムに応じてMacまたはPCのインストーラを選択してください。(警告: PC用のファイルをMacで実行したり、その逆はしないでください)。

- Mac: PKGインストーラーをダブルクリックし、指示に従ってください。
- PC/Windows: ファイルの内容を解凍します。セットアップファイルをダブルクリックし、指示に従ってください。

\*注: Mac OS X 10.9から10.11をお使いの場合は、レガシー macOSインストーラーをダウンロードしてください。



# Techivation M-Blender

## アンインストール場所

### MAC OS

AU: /Library/Audio/Plug-ins/Components/

VST: /Library/Audio/Plug-ins/VST/

VST3: /Library/Audio/Plug-ins/VST3/

AAX: /Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

Other data: ~/Library/Application Support/Techivation

### WINDOWS

VST: Custom path from installer

VST3: \Program Files\Common Files\VST3\

or \Program files(x86)\Common Files\VST3

AAX: \Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins\

Other data: C:\ProgramData\Techivation 注意: このフォルダは隠しファイルなので、まず隠しファイルを見るように設定を変更してください』。